

第6回国立公園満喫プロジェクト有識者会議

議事次第

日時：平成29年8月7日（月）

10:00～12:00

場所：航空会館7階 702+703 会議室

1. 開会

2. 議事

(1) 国立公園満喫プロジェクトの実施について

(2) その他

3. 閉会

配付資料一覧

資料 1 国立公園満喫プロジェクトの選定 8 公園を中心とした取組
状況と今後の予定

資料 2 国立公園満喫プロジェクトを進めていく上での考え方

資料 3 - 1 今後の進め方に関する前回会議での主なご意見と
対応方針について

資料 3 - 2 国立公園満喫プロジェクトの今後の進め方

資料 3 - 3 国立公園と温泉地の相互連携

参考資料 1 国立公園別訪日外国人利用者数推計値等
(第 4 回有識者会議資料)

参考資料 2 国立公園満喫プロジェクト有識者会議 委員名簿

参考資料 3 第 2 回「山の日」記念全国大会

国立公園満喫プロジェクトの選定8公園 を中心とした取組状況と今後の予定

- (1) 国立公園の管理体制強化
- (2) 質に関する指標開発
- (3) 民間事業者等との連携
- (4) 公共施設の民間開放
- (5) 上質なホテルの誘致
- (6) 野営場の改革
- (7) 引き算の景観改善
- (8) 利用料等を保全に還元する仕組み
- (9) プロモーション

(1) 国立公園の管理体制強化①

の5カ所の国立公園

- 「管理事務所」を設置し、所長以下5名の職員を配置

の3カ所の国立公園

- 保護管理と利用の企画官、各1名を増員

※8公園にアクティブ・レンジャーを合計13名増員

阿寒国立公園

(釧路自然環境事務所管内)



大山隠岐国立公園

(中国四国地方環境事務所管内)

阿蘇くじゅう国立公園

(九州地方環境事務所管内)

霧島錦江湾国立公園

(九州地方環境事務所管内)

日光国立公園

(関東地方環境事務所管内)

十和田八幡平国立公園

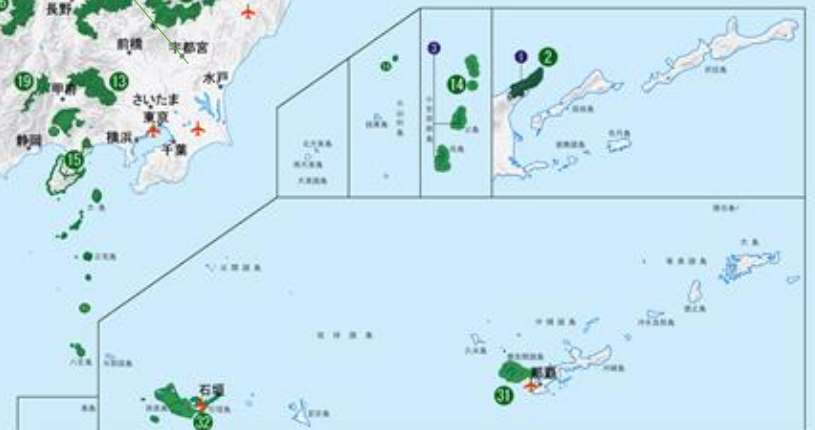
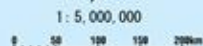
(東北地方環境事務所管内)

伊勢志摩国立公園

(中部地方環境事務所管内)

慶良間諸島国立公園

(那覇自然環境事務所管内)



(1) 国立公園の管理体制強化②

① 管理事務所設置による効果

・ 環境省の体制強化に連動した、地元自治体、観光協会における体制強化

(釧路市阿寒観光振興課増員、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構への大手広告代理店・旅行会社からの人材派遣、島根県課長級職員増員、島根県大田市・出雲市の増員、熊本県観光産業創成班の設置、宮崎県自然公園室の設置等)

・ メディア露出機会の増加 (事務所開設の会見に14社の取材、地元テレビ・新聞への所長出演等)

・ 増員による、様々なイベント・会議 (ONSENガストロノミー前夜祭等) への出席機会の増加、新たな展開 (地元飲食店からの寄付による草原維持費用補填の仕組みを構築 ((8) ②参照) 等)



草原維持作業

② 所長着任による効果

・ 知事、県部長、市町村長、地元有力企業代表等との直接の調整機会の増加 →米子空港・フェリーターミナルなど周辺施設での国立公園の紹介開始

③ 民間経験者の国立公園利用企画官着任による効果

・ 旅行業界、海外長期滞在経験者、雑誌メディア、金融機関、グリーンツーリズム、地域づくり、観光経験者等多様な民間経験を活かし、高速道路SAでの公園PR、VC英語HPの充実、アウトドア雑誌PEAKSへの寄稿、DMCのファミ会議新規参加、ロングトレイルの具体的な検討開始等を実施

(2) 質に関する指標開発①

- 利用促進策の成果を把握するための指標として、国立公園を訪れる訪日外国人利用者の「人数」以外に「利用の質」に係る指標を開発する。
- 過去データとの比較が可能な「①既存統計による推計」と新規の「②モバイルアンケート」による調査結果を比較分析し、継続取得が可能な指標について検討を行う。

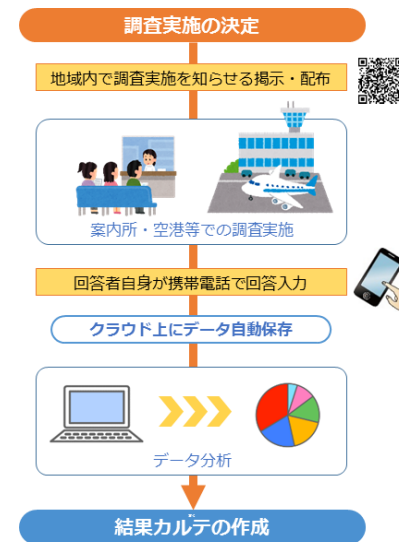
①既存の統計データを活用した指標値の推計

	利用者数 (人)	観光消費単価 (円/人)	平均宿泊数 (日/人)
使用 data	訪日外国人消費動向調査 (観光庁)		宿泊旅行統計調査 (観光庁)
推計 方法	① 訪問地ごとの訪問率 ② 各公園内訪問地訪問率を抽出・推計 ③ 訪問率と訪日外国人旅行者数を用いて推計 ④ 各公園利用者数	① 訪問地ごとの観光消費単価 ② 公園内訪問地を抽出・推計 ③ 国立公園全体消費単価	① 全国施設の泊数 ② 各公園内施設を抽出・推計 ②' 各公園を含む市町村内施設を抽出・推計 ③ 各公園宿泊日数
対象 data	H29年data	H28年data	H28年data
推計 時期	H30年3月 (予定)	H29年10月 (予定)	H29年8月 (予定)

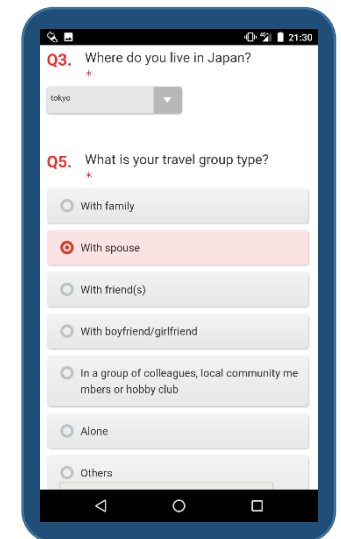
②現地モバイルアンケートによる指標値の把握

- 現地で観光客自身がスマホ等で回答
- 公園訪問の内容・意識を全国統一で把握

(英語・繁体字・簡体字・韓国語・日本語)



システム概要



回答画面例

(2) 質に関する指標開発② – 既存統計による推計

■ 訪日外国人の国立公園利用に関する指標値の推計結果【暫定値】

No	公園名	外国人推計実利用者数 (万人)		【参考】 日本人を含む 利用者数 (万人)	外国人 観光消費単価 (円/人)	外国人平均宿泊数 (泊/人)		外国人延べ宿泊者数 (万人泊)		【参考】 日本人を含む 延べ宿泊者数 (万人泊)
			標準誤差率						外国人比率	
1	阿寒	5.8	10.2%	360	-	1.29	1.28	12.4	6.8%	183
2	十和田八幡平	2.2	16.6%	474		1.31	1.25	13.0	3.6%	363
3	日光	24.1	5.0%	1,609		1.32	1.24	13.1	1.7%	787
4	伊勢志摩	6.1	9.9%	887		1.14	1.14	6.7	1.6%	417
5	大山隠岐	1.4	20.8%	1,341		1.24	1.20	7.1	1.8%	396
6	阿蘇くじゅう	67.5	2.9%	2,050		1.14	1.14	98.9	14.5%	682
7	霧島錦江湾	7.9	8.7%	1,171		1.24	1.17	39.1	6.8%	576
8	慶良間諸島	-	-	20		2.09	1.64	1.1	6.3%	17
34公園全体		545.7	0.9%	35,218	推計中	-				
対象data		H28		H26	H28	H27				

外国人推計実利用者数

- ※外国人推計実利用者数：当該国立公園を訪れた実際の利用者数の人数。1人の利用者が同一公園内の複数地点を利用しても1人と数える。
- ※慶良間諸島は、「訪日外国人消費動向調査」の訪問地選択肢コードに該当する地点が無かったため、実利用者数は推計対象外。
- ※参考として掲載した日本人を含む公園利用者数の出典：環境省「自然公園等利用者数調」

外国人平均宿泊数及び延べ宿泊者数

- ※平均宿泊数及び延べ宿泊者数の集計対象は、国立公園を含む市町村の宿泊施設とした場合の値。
- ※外国人平均宿泊数 = 外国人延べ宿泊者数 ÷ 外国人実宿泊者数。

(2) 質に関する指標開発③ – 現地モバイルアンケート

■ 全国統一ベース設問

・ 既存統計による推計値と比較検証する項目

公園（および周辺域）の「泊数」「消費額」

・ 公園訪問の内容

国立公園としてのエリア認知 / 公園内訪問スポット
公園内実施活動 / 公園内消費額（費目別） / 滞在中情報源
公園訪問のきっかけとなった情報源 / 公園訪問回数
公園内宿泊地・日数 / 公園外の宿泊地・日数

・ 訪問に関する意識

満足度（項目別）
再来訪意向
満足（自由記述）
改善の提案（自由記述）

・ 属性

性別・年代 / 国籍・居住国
同行者 / 旅行会社利用有無
訪日回数 / 入出国空港
職業 / 世帯年収

■ ローカル追加設問

各公園・地域と協議の上で、必要な設問を地域ごとに追加する

■ 調査スケジュール

調査設計・準備

地域調整・試行

システム稼働（適宜修正・改善）

分析及び継続に向けた調整

5～6月

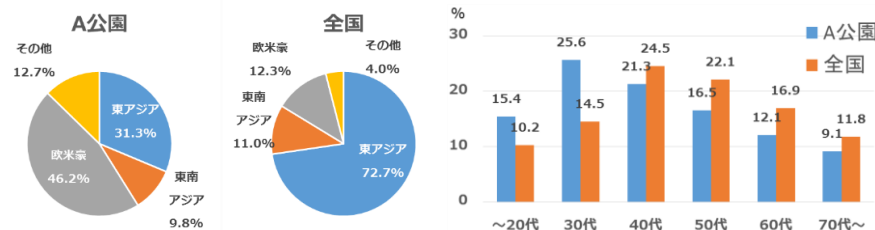
7～8月

8～2月

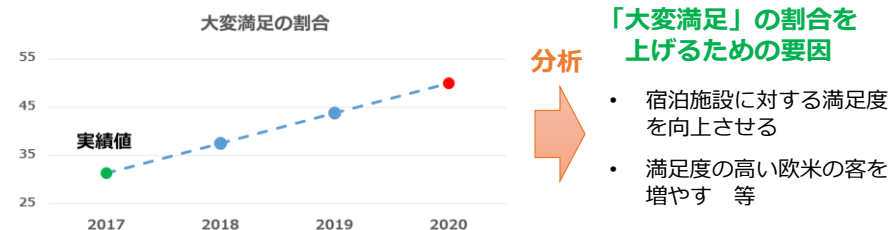
2～3月

■ データ活用イメージ（例）

① 自地域の公園訪問者像を把握する



② 値向上のKey要因を確認する



③ 改善提案コメントから対応策を検討する

改善提案コメント（例）

- ・ ベジタリアンフードのメニューがなかったので作ってほしい。
- ・ 英語での案内がなく、買い物はどこで出来るか分からなかったのので、英語MAPを用意してほしい。

整理

改善事項（例）

- ・ 県産の野菜を使ったベジタリアン向けのメニューを共同開発する。
- ・ 外国語対応の地図を作成し、分かりやすい場所に掲示・設置する。

(3) 民間事業者等との連携①

① 新規バスの運行等

- 日光国立公園内の関係観光協会等が連携し、日光国立公園内に散在する観光地、日光・鬼怒川・湯西川・塩原・那須を結ぶバス（日光・那須満喫ライナー）の試験運行を、H29年5月13日～6月4日の期間の土日（計8日間）実施。H29年10, 11月の土日祝日においても秋季運行を検討中
- 大山隠岐国立公園内の夕日の絶景地域をPRするため、夕日の時間帯に日御碕灯台や日御碕神社を巡るガイド付きバス（出雲日御碕夕日観賞バス）を出雲市がH29.7より新たに運行開始



(3) 民間事業者等との連携③

②CMによる利用者の増加

- ・ 6/16より放映開始されたサントリー「奥大山の天然水」のCM（宇多田ヒカル出演）により、大山隠岐国立公園に隣接する「天然水奥大山ブナの森工場」の6月の来場者が前年の3倍に増加し、公園内にも波及



③オフィシャルパートナーとの連携

- ・ 国立公園の魅力を世界に発信する国立公園オフィシャルパートナーシップ締結企業31社による取組を継続して実施中



日本旅行では、国立公園を冠した旅行商品を造成・販売中。2017上期(6～9月)は伊勢志摩国立公園・霧島錦江湾国立公園。JR車内誌や高速道路(NEXCO)フリーペーパー等での国立公園特集の掲載。

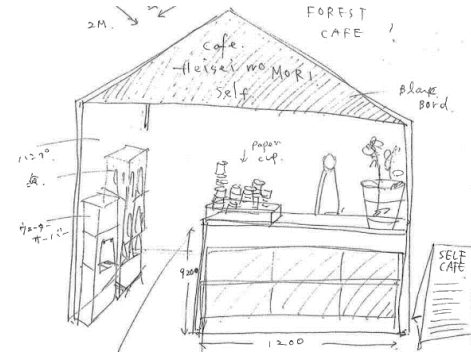


- ・ さらに、新規の締結について調整中。

(4) 公共施設の民間開放

① 那須平成の森フィールドセンターでのカフェ試験出店

- ・ 地元在住デザイナーの助言を受け、イス・テーブル等を設置し、5/2より飲食スペースとして開放
- ・ H29.6.25に、出店形式での飲食提供を行うカフェスペースとして試験的に開放。8月には観光協会会報にて地元カフェ等による試験出店を募集。



カフェスペース



カフェスペース

② 天空カフェの設置

- ・ 伊勢志摩国立公園において、英虞湾の景色が一望できる横山展望台に、民間のカフェを導入
- ・ H29年度中の施工完了を目指し、設計が完了し、H29.9より着工予定
- ・ 公募により民間事業者を選定予定



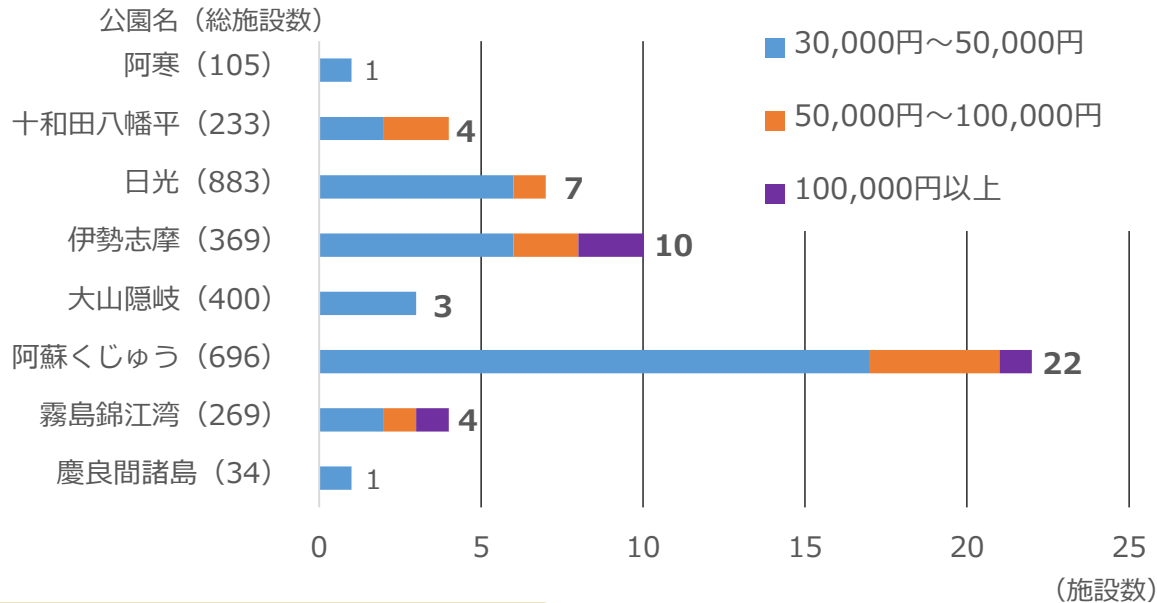
展望台・休憩所整備イメージ(全景)

(5) 上質なホテルの誘致

① 国立公園内及び周辺の宿泊施設現状調査

- ・ 8公園内及び周辺の宿泊施設（公園内1,095施設、周辺1,894施設）について、客室数、宿泊単価を調査
- ・ 宿泊単価**5万円以上**の施設は8公園で**14施設**
- ・ 宿泊単価**1万円以下**の施設が各公園の**6割～9割弱**を占める

＜国立公園内及び周辺の高単価宿泊施設数＞



② 上質な宿泊施設に関する取組状況

- ・ 8公園のうち3カ所程度において、国有地を中心に自然環境に配慮した上質な宿泊施設を誘致するための候補地について、今年度、専門家同行による調査を実施
- ・ その他の国立公園についても、自治体、民間事業者を中心に検討が進んでいる（日光国立公園ではリッツカールトンが進出予定）

(6) 野営場の改革

① 直轄野営場における民間事業者との連携

- ・ 8公園のうち3カ所程度の直轄野営場を対象として、**民間事業者等と連携したグランピングなどの上質なサービス提供について具体的な検討調査を実施**予定。



② オンネトーにおけるグランピングの検討

- ・ オンネトー（阿寒国立公園）のキャンプ場（林野庁所有、足寄町指定管理）において、**足寄町によりスノーピークとの連携も視野にグランピング導入の手法を検討中。**



休暇村裏磐梯で最新キャンププラン提供開始

- ・ 磐梯朝日国立公園（8公園以外）で休暇村が管理する直轄野営場において、国内最大級キャンプ専門インターネットサイト「**CAMP HACK**」と連携し、**最新のキャンプ用具のレンタル、食材の提供をするプランを提供開始**



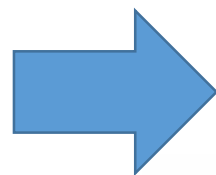
(7) 引き算の景観改善

大山寺地区における景観改善

【大山隠岐国立公園】

- ・大山寺地区において、地元自治体が内閣府の交付金を活用し、廃屋を撤去済。

撤去跡地にカフェや物販機能を有する「山の駅（仮称）」を整備予定。



(8) 利用料等を保全に還元する仕組み

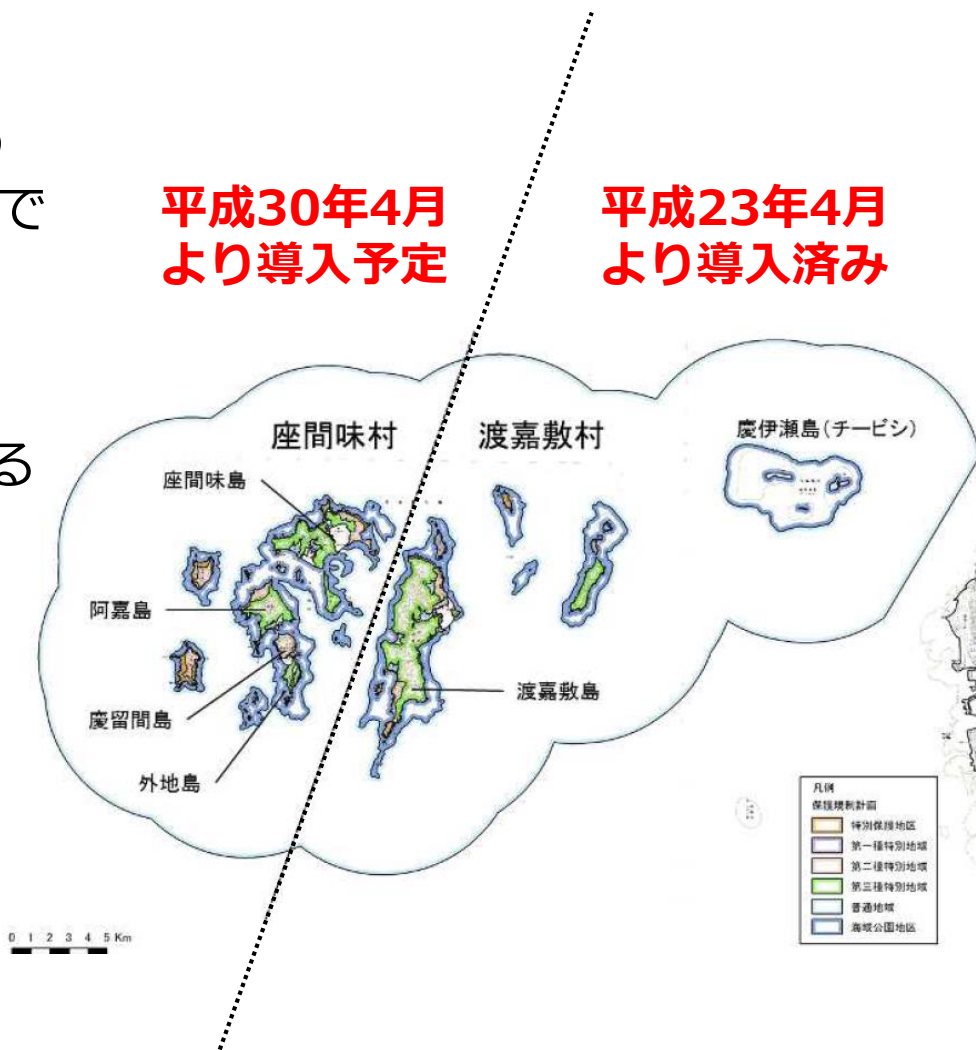
① 美ら島税による自然環境・景観保全

- ・ 座間味村（慶良間諸島国立公園）にて、**来年度から「美ら島税」の導入予定**（平成29年3月に村議会で条例案可決、同年7月総務省同意）
- ・ **船舶の運賃に一人100円を上乗せ**して徴収
- ・ **年間約1千万円の税収**が見込まれる
- ・ **環境美化・保全、観光施設の維持管理**に活用



平成30年4月
より導入予定

平成23年4月
より導入済み



(8) 利用料等を保全に還元する仕組み

② 利用者の協力による自然環境・景観保全

- ・ 大山隠岐国立公園の草原景観維持のため伐採した木材を薪にして販売
- ・ 地元飲食店舗「さんべバーガー」の協力で、バーガー料金の一部を寄付
→ 持続可能な三瓶山の草原景観保全の活動へ

補助金

取組への理解・協力

バーガーを
買う

一個につき
1円を寄付

薪を買う

薪売上の
一部を寄付

利用者が気軽に環境
保全に参画

三瓶山の草原景観維持作業
(自然生長した樹木の伐採)



伐採した木を薪にして販売

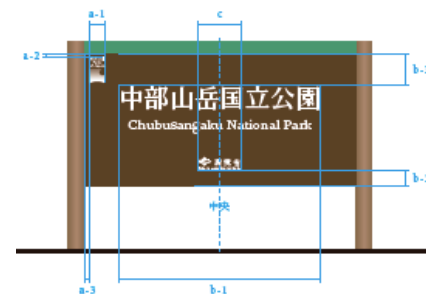


(9) プロモーション・情報発信①

① 国立公園統一マークの発表

- ・ 国立公園統一マーク、ブランドスローガン「その自然には、物語がある。」を発表
- ・ 各国立公園についても統一マークと一体的なデザインでの作成を今後進める予定

National
Parks
of Japan



② コンテンツの磨き上げ・受け入れ態勢強化（ファムトリップ）

- ・ 地元自治体や観光協会、事業者等からなるWGを設置。
- ・ ターゲットやコンセプトを明確にしながら、各公園ならではのコンテンツ同士をつなぐストーリーや主要交通拠点からのルート等を検討中。

例) 日光国立公園の進捗状況：

○ターゲット：欧米豪の個人旅行者（富裕層を意識）

○コンセプト：NIKKO is NIPPON 自然・歴史・文化 美しい「日本」を体験できる 東京圏のプレミアムリゾート
→ ・御用邸、大使館別荘を中心とした「プレミアムリゾート」の追体験 ・湖、渓谷等「水」のアクティビティ
・世界遺産エリアを中心とした「歴史文化体験」 ・日帰り→宿泊→連泊を目指したコンテンツ開発 等

7/24～26 **プレファム（現地検討会）の実施：**

- ・ 個々のコンテンツ、ストーリーの磨き上げ
 - ・ 意見交換の時間を設け、徹底したヒアリング
- 招聘者：マイクハリス氏、ジャパントラベル記者等**

WG等で、反省・磨き上げ

8～9月頃（予定）

留学生等によるモニターツアーで生の声をヒアリング
※JTB（オフィシャルパートナー）のCSR

9月中旬（予定）

ファムトリップ
現地評価会、
招聘者との今後の関係性の構築

12月～1月頃（予定）

冬季モニターツアー
栃木県が中心となり、留学生等を活用した冬季アクティビティの磨き上げ・PRを実施。

（その他公園の予定）阿寒9月、1月ファム予定、伊勢志摩11月ファム予定、阿蘇くじゅう8月プレファム予定16

(9) プロモーション・情報発信②

③ ビジターセンター情報発信強化プロジェクト

プロジェクトの目的

国立公園満喫プロジェクトと連動して、国立公園の利用拠点であるビジターセンター（VC）において、**情報発信の強化**を図ることで、利用者が国立公園をより楽しめるようにするとともに、インバウンド増加につなげることを目指す

* 対象は国立公園及び周辺にある環境省直轄の65箇所のビジターセンター



阿蘇くじゅう国立公園 長者原ビジターセンター

情報発信強化の取組の方向性

① 国立公園やビジターセンターに関する情報が**事前によりわかりやすく！**

- ・VCの**アピールポイント**とできることをとりまとめた「**ビジターセンターBook**」の作成とその周知徹底
- ・環境省HP「**国立公園へ出かけよう**」、公式SNS等の充実



ビジターセンターBook



公式Instagram

② ビジターセンターに寄って**国立公園をより楽しく！**

- ・地域の特徴や公園を楽しむ**展示等の充実**
- ・**アクティビティ・プログラム**の充実
- ・地域の**ワンストップサービス**の実施の検討



③ ビジターセンターが**より便利に！**

- ・環境省の整備可能な**全直轄VCにおけるWi-Fi整備**
- ・**多言語等のユニバーサルデザイン**対応の推進
- ・**VC機能の拡充**(カフェ・ツアーデスク等の設置の検討)
- ・VCの体制の強化(人員の充実・研修等)
- ・**自然公園等施設技術指針への反映**

伊勢志摩国立公園
横山(カフェ導入施設のイメージ)

